

令和7年度 第2回地域公共交通会議（法定協議会）会議録

○日時：令和7年11月13日（木）10時00分～10時40分

○場所：リーパスプラザ103洋室

○委員の出席状況

出席者

【会長】九州産業大学	理工学部 教授	稲永 健太郎
【副会長】公募市民		久池井 良人
古賀市	総務部長	柴田 武巳
古賀市	建設課長	小潟 正博
西日本鉄道株式会社	営業第二担当 課長	池田 舞 (代理)
株式会社古賀タクシー	代表取締役	後藤 正典
花鶴タクシー有限会社	代表取締役	保井 享
一般社団法人福岡県バス協会	専務理事	河津 隆幸 (代理)
一般社団法人福岡市タクシー協会	専務理事	三根 徹
九州運輸局福岡運輸支局	支局長	永松 靖二 (代理)
福岡県福岡県土整備事務所	管理課長	松永 栄一
福岡県粕屋警察署	交通第一課交通規制係長	佐田 晃一
大分大学	経済学部 教授	大井 尚司 (オンライン)
公募市民		飯尾 みどり

○欠席者

九州旅客鉄道株式会社	古賀駅管轄 福岡駅長	紺屋 良治
社会福祉法人古賀市社会福祉協議会	総務・地域課	田中 早穂
西日本鉄道労働組合	地域福祉係 係長	鞭馬 隆行
	自動車対策部長	

○オブザーバー

福岡県企画・振興部交通政策課		三重野 直美 (欠席)
古賀市建設産業部	都市整備課長	大浦 康志

○事務局：古賀市経営戦略課 嶋田課長、横山係長、他2名

○傍聴者：0名

○配布資料

- 資料1 コガバス（小竹線）について
- 資料2 自動運転バスの実証運行について
- 資料3 その他報告事項について

1. 開会

経営戦略課長	あいさつ
事務局	委員の任期（令和9年7月11日まで）、委嘱書について説明。 事務局の司会のもと、会長、副会長の互選が行われ、立候補がなかったことから、事務局より提案。 会長に九州産業大学の稲永委員、副会長に公募委員の久池井委員が選出された。
会長	開会のあいさつ
事務局	委員の出席状況及び会議の成立について報告 資料の確認

2. コガバス（小竹線）について

事務局	資料1について説明。
委員	アンケート調査結果の報告があったが、結果を受けて、改善の必要性についてのコメントがなかったが、どう対応するのか。
事務局	アンケートを実施したのが10月15日。確かに、快速で運行しているバスを、別のバス停にも停車してほしいなどの意見はいただいているので、精査は今後していく。本日の報告の中には載せていない。
委員	アンケート結果の内容の報告であったが、小竹線の乗車人数が何人という報告を受けても、イメージしづらい。目標に対しての結果報告であったほうが私たちも非常に理解が得られるという印象を受けた。
委員	小竹線の利用者数が順調に伸びており、若い人の利用が多いということはとてもいいと思う。コミュニティバスは、交通に不自由な方が利用するので、年配の方の利用が多い。地域の需要に支えられ4月から若い方の利用が増えたというのは今後も期待できる。コガバスは地域の方には大変便利だと思うが、利用が増えることはいいが、利用定員が9人。今まで9人を上回ることはなかったと思っているが、これだけ通勤や通学に利用されるようになれば、9人を上回ることは十分ありえるだろうと思う。昼間の時間帯であれば乗車できなくても1時間ほどずらせばいいということになるが、通勤、通学はそういうわけにはいかないと思う。今後、デジタルチケットで定期券を販売していとなると、乗れませんでしたでは済まないような状況になってくる。今後、需要が伸びていくと、やはり課題になってくると思う。 先日、小竹線のバスに乗り、運転手さんに話を伺ったところ、9名を超えることはめったにないが、9名を超えた方については乗車ご遠慮いただいた事例があったとのことだが、これは少し厳しいと思う。10分、15分の間隔で運行している場合は別だが、バス停まで行って乗車できず1時間後になるのは厳しいと思う。これまではこういう状況はなかったと思うが、利用

	者が増えると、こういったことも検討し充実していく必要が出てくる。
事務局	小竹線は、需要が高まっており、乗り切れない状況が出てくることを事務局としても懸念している。 来年度の運行契約等で需要が多いところについて、車両の大型化は難しいが、乗車できない方がいる場合は、別の車両を追加して配車するという対応ができないかと検討したい。
会長	今回はアンケートにより利用者の声を把握することができたが、もし差し支えなければ、運行事業者からの感想、意見等を伺いたい。
委員	まず乗務員が固定されており、いつもの運転手が、いつものお客様を対応するという状況である。お客様の方からの親近感であったり、信頼をいただいているところが、このアンケートに結びついていると思う。 個別にいろいろお客様からの要望があったり、バス停の乗降について希望があれば、例えばステップや踏み台を用意するとかという個別な対応にも準備ができるようにしている。
委員	私、個人的にはＪＲ古賀駅ではなくＪＲ新宮中央駅に行くのはおかしいと思う。しかしアンケート結果を見ると思ったより需要がある。従来であれば、使う人がだんだん少なくなって廃止という形は多い。今後、工場ができ企業からの需要もあり、古賀市が大きなバスを買うということであれば、いつでもそれに対応はする。新宮町にはロピア、カインズなど魅力的な施設が多くある。若い方の通勤、通学で利用される方も増えてきていることについては、対応していきたい。新宮町も費用を分担していただきたいという気持ちもある。
会長	安全に、日頃運行していただいていること感謝申し上げる。
委員	今のご意見に関連して、本来からいえば他のバス路線が全てＪＲ古賀駅に向かっており、古賀市の発展ということを考えると、ＪＲ古賀駅に接続するのは非常に大事なことだと思う。本来なら、ＪＲ古賀駅から小竹を通過してＪＲ新宮中央駅まで向かう路線がいいと思う。コスモス館での接続というのは、やはりそこで乗り換えて小竹線に乗ろうという方はなかなかいらっしゃらないと思う。しかし実際に小竹線に乗ってみると、ＪＲ古賀駅から小竹を通過してＪＲ新宮中央駅まで向かう路線は難しいと思う。 小竹線の利用者の中で、一割程度が新宮町の方の利用となっており、どんな利用の仕方をされているのかということはきちんと把握し、最終的にはコスモス館がもっと賑わいの場になれば、少しは新宮町から古賀市への人の動きも出てくるのではないかと思う。今のところは通勤の方かなと私は思っている。
会長	利用者数が伸びて、少し安定してきているということは、大変喜ばしいことと思っている。ただ、いろんな改善しなければいけないことが出てきていると思うので、引き続き改善を、どうしていくのかというところを検討してほしいと思う。

	<p>どうしても新宮町の方の商業施設が魅力的で、そちらに向かうという状況が出てくること自体はやむを得ないところだと思っている。古賀市は、古賀市としての新しい魅力、新しい工場の話もあり、それからコスモス館、グリーンパーク、クロスパルもある。古賀市全体として各部署で連携していただくような形でバックアップをしていけるといいかなど、個人的には思っている。引き続き、多方面でご協力賜ることになるがお願いしたい。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 自動運転バス実証運行について

事務局	資料2について説明
会長	私の方から1件だけ確認。今回の自動運転は、以前策定した公共交通計画の中の先進的な技術を試して導入してみるといったような、その流れで今回応募されているという立て付けで間違いないか。
事務局	<p>公共交通計画ではそのとおり。</p> <p>今回の第二世代交付金で申請したプロジェクトは、やはり運転手不足によるバス路線の維持が、市民の移動で重要になってきている。現在のバス路線は、そのまま維持しつつ、タクシー事業者により自動運転バスの実証運行をする。その中でバス事業者からタクシー事業者へのバスの運転のノウハウについて研修を行ってもらい、自動運転バスを実証運行していく。</p> <p>補助金は、3カ年の計画で採択を受けているが、今年のはのり一との区域で実証運行をし、最終的に西鉄バスの路線のところまで運行していき、現在の路線で便数が少ないところに少しリソースを振り向けるといった工夫ができないかと考えた上での実証運行となる。</p> <p>また、サイネージ導入、スマホ教室を行い、これは古賀市全域の方に交通DX、公共交通を使いたいけれども使い方がわからないといった方へ交通手段の使い方も含めて支援させていただければというところで、このプロジェクトを作っている。</p>
委員	自動運転について、運賃はどうするのか。また自動運転のレベルの想定を伺いたい。
事務局	<p>運賃は、今年度無償で行いたい。</p> <p>自動運転のレベルは、初年度レベル2で実施予定。運転支援のような形での運行となる。ルート等で、やはり全てを自動というのは難しいと思うので、実証運行しながら必要に応じて手動介入していくという形で運行を考えている。将来的にはレベル4を考えている。</p>
委員	確認だが、のり一とは現在1台体制になっている。自動運転はのり一とで実施するとなると、もう1台増やすことになるのか。
事務局	自動運転は、のり一との車両ではない別の車両をリースする。のり一とは1台体制で運行を行いながら、3月の1ヵ月間のみ自動運転車両をプラスで運行するという形を考えている。
委員	現在すでにのり一とは運行しているが、自動運転バスを無償で運行するこ

	<p>とを、3月までに住民へ説明は行うのか。</p> <p>ルートについて、JR古賀駅から3号線を通りJRししぶ駅までということと聞いているが、国道3号を通るのはレベルが高くないかと思う。例えば、福岡市のアイランドシティなど独立したところで運行されていれば非常に分かりやすいが、JR古賀駅からJRししぶ駅まで国道3号を通るといのは、自動運転のレベルがかなり高く、乗客もいるので、十分な説明、対応が必要ではないかと心配している。</p>
事務局	<p>まず地域への説明については、3月までに説明会をさせていただき予定にしている。やはり自動運転バスに乗りたいという方、ちょっと乗るのは怖いという方、走ることに不安と思われる方もいると思うので、丁寧に説明はしていきたい。</p> <p>また、国道3号を通るというところで、現在、県警本部、国道事務所と協議をしている。自動運転バスが、最高速度が時速35キロで走るの、道路の走行に耐えうるかどうかというところを、月曜日に試走を事務局で行った。試走してみたところ、車線が多いほうが35キロで走行という表示をしていたのもあり、後ろから車線変更されて、こちらとしては気兼ねなく運転できた部分があったと思う。どちらかと言うと、片側一車線の方がずっと後ろに車が重なってしまったり、乱横断など、急に人が飛び出してくることがあるので、国道3号の方が、安心して運転できたと思っている。車線変更の安全性については、こちらとしてもきちんと実証を通じて、どう安全に走行できるかというのは考えていきたいと思う。</p> <p>3月の後半10日間ほど運行することを考えている。3月の前半は調整期間があり、その中で運転手さんのトレーニングも含めてきちんと行っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>自動運転バスについては、新しい試みであるが、最初から国道3号を走行するのは、事故の対応をどうするかという心配がある。</p> <p>自動運転とは話は変わるが、福津市は10月から西鉄バスの勝浦線が廃線になり、地元のタクシー業者、福栄タクシーと平和タクシーで月曜から金曜の朝5時から動いている。全体的に、西鉄バスが補助金額の維持をすれば、ある程度は動いていくかもしれないが、自動運転の問題が出てきているので、この線を廃止にするというのは、前もってするのが多いかと思うが、そのところを最終的にはどうするのか、予算をどうするのかということを考えてながら行っていただきたい。自動運転については、やってみないといけな話であり、ルートは事故のないように運行したいと考えているが、未知数ではある。</p>
委員	<p>車両のタイプ、システム管理を行う会社はどこか。</p>
事務局	<p>実証運行については、市の予算を12月議会で補正をし、そこからの選定になる。決定次第、お知らせさせていただきたい。</p>
会長	<p>予算がついてからということになる。</p>

	<p>自動運転に関しては、今の運転手不足といったところの解消に向けた一つの手段ということで、全国的にもいろいろな実証が行われているところ。技術的にいろいろクリアすべきこと、運行としてのクリアすべきこと、まだまだいろいろとこれから検討することだと思う。</p> <p>先ほど後ろから来た車両がスムーズに抜いてくれたという話があった。自動運転の車両が走っていることに対して、周りで走行されているドライバーの皆さんがどういう受け止め方をされるのか。必要性という言葉になるかと思うが、ここをどうより高めていくのかといったところが、一つ実証運転の大切なところと思う。</p> <p>国道3号は、古賀市民ではない、他の地域の方も走行される場所であるので古賀市内だけの周知にとどまると、何をしているのかということにもなり得ると思っている。関係機関とどういう形で、国道3号を運転されているドライバーに周知していくのかを、ぜひ検討してほしい</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4、その他報告事項について

事務局	資料3について説明
会長	コガバスのバス停移設について、エリアは新宮町だと思うが、新宮町からここが変わりますという連絡は、事前に早めにいただいていたのか。ギリギリになって変更しますという話だったのか。そこをお尋ねしたい。
事務局	8月頃に連絡があり、早めに準備できた。
委員	3つ目ののるーとの周知動画の配信について、面白いと思い尋ねるが、のるーとの新規登録をするときに、何がきっかけで登録したのかという統計はとれるのか。この効果があったのかどうかを、数字で見れたら、他の自治体とかにも紹介できると思う。
事務局	特にそういった統計はとっていないところではある。アンケートなどを実施すれば可能だとは思うので、アンケートをする際には、こういった項目も入れるなどぜひ参考にしたい。
委員	<p>のるーとダッシュは、以前何か利用状況が非常によくない、なかなか利用してもらえないという話は伺っていた。今回、古賀中央病院に移設された経緯を伺いたい。</p> <p>そもそものるーとダッシュは設置されている場所が目立ちにくい。市役所に入っのるーとダッシュがどこにあるのか知らない人がたくさんいると思う。JR古賀駅も観光案内所の中にあるが、外からは分かりづらい。観光案内所にあるという誘導が必要だと思う。観光案内所はめったに中には入らないので、そこにのるーとダッシュがあるということに、そもそも気がつかないと思う。2点、利用状況と、病院に移設された経緯を伺いたい。</p>
事務局	のるーとダッシュについては、確かに利用状況が少ない状況。サンコスモ古賀からののるーとを利用している人ほとんどがアプリで予約されてい

	<p>る。古賀中央病院は、逆に電話予約でのるーとを利用している人が多い状況であり、設置すれば利用してもらえらると思ひ、移動している。ただ、こちらも入口に置いているが、周知が足りていないと思ひている。先ほどの古賀駅の観光案内所も含めて、もう少し分かりやすく周知を考えたいと思ひ。</p>
会長	<p>のるーとダッシュは、始めたばかりの試みのサービスと私自身は理解をしている。これを広めていくのか、まだ方向性としてはあまり定まっていなると推測している。ぜひのるーとの会社の力も借りながら、のぼり旗を作るなど、いろいろ提案があると思ひるので進めてほしい。</p>

5. その他

事務局	報酬等について本日お支払いさせていただきます。
-----	-------------------------